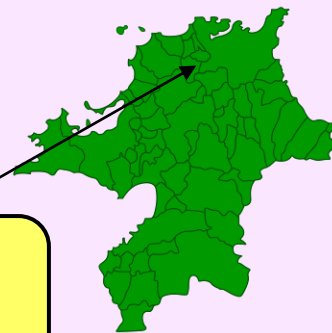


社会福祉法人 鞍手町社会福祉協議会

〒807-1305 鞍手郡鞍手町大字新延414-1 総合福祉センター内
TEL0949-42-7800 / FAX0949-42-7808

鞍手町のデータ【平成24年1月1日現在】

人口 17,451人 世帯数 7,561世帯 高齢化率 28.3%
自治会数 42 民生児童委員数 48人



できるひとが できることを できるだけ

●指定事業実施の背景

町内で高齢者の閉じこもりや孤独等による福祉課題が問題となり、地域の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていくため、サロンを基盤とした地域づくりの必要性を感じていた。

そのため、既存サロンの活動の充実や新規立ち上げの支援、地域課題の発掘・解決のために、サロン支援者の募集・養成（人づくり）や町（関係機関）との連携体制の構築、地域への発信を積極的に進めていく必要があった。

●2年間の軌跡 活動の概要

①「連携・協力体制の構築」のために、町担当課と連絡・調整会議を定期的に行い、情報交換や先進地視察を通して、サロン活動の重要性について共有した。

②「人づくり・資質向上」のために、視察研修やくらて健康隊（サロン活動推進員）養成講座を実施した。また、講座終了後は、人材育成として復習を兼ねた定例会を毎月実施している。

③「場づくり」のために、各地域や各団体に対する説明会を開催し、また、校区别実践交流会への参加を通して、サロンの普及・推進を図った。

④「活動の普及・推進・運営支援」のために、くらて健康隊の登録制を導入し、サロンを応援する仕組みづくりを行った。

●事業効果

前述の4つの柱立てに従って、サロンを推進していく仕組みづくりを行うことで、住民やボランティアへの周知・理解を深めるための基礎が固まり、4つのサロンの誕生（平成23年度）、くらて健康隊の組織化につながった。

町と連携を重ねていった結果、町総合計画にふれあい・いきいきサロン活動の推進が盛り込まれた。

担当者の声

この2年間は、「地域」のことを真剣に考え、学び、住民と向き合う2年間でした。これまで関わりのなかった方と出会い、地域福祉への思いを共有することができたことは、本当に良かったと思います。少しずつ地域へ入って、住民と共にサロンづくりを進める中で、以前、ある研修のときに学んだ、「課題の答えは地域にある」という言葉の意味が少しわかったような気がします。

今後、当町で、少しずつ広がりを見せているサロン（地域福祉）の輪を更に広げ、サロンが小地域における核となる活動になるよう、常に「住民と共に」の視点を持って取り組んでいきたいと思っています。

鞍手町社会福祉協議会 渡邊 伸也 氏

活動のあしあと

①連携・協力体制の構築(行政・関係機関との連絡会議)

「縦割りから横のつながり」を作り、地域の課題を共有し、共にサロン推進を図った。

②人づくり・資質向上

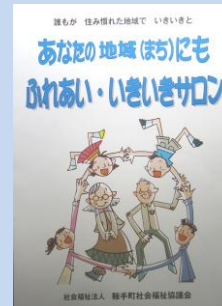


くらて健康隊(サロン活動推進員)養成講座(写真)や先進地視察研修等を通して、人づくりやサロン活動者等の資質向上を図った。

③場づくり



個別説明会の開催や自治公民館連絡協議会校区別実践交流会(写真)を通して、地域住民と共に議論を重ねた。



④活動の普及・推進、運営支援

サロン啓発用パンフレットを作成し、説明会開催時の使用、関係機関窓口に掲示した。

+ 「地域の力」



サロンの誕生!! このまち(地域)を良くする「つながり・絆・仕組みづくり」

今後の取り組みと目標

1 連絡・協力体制の構築

現在、町担当課等と開催している連絡・調整会議について、今後は、サロン代表者や世話人を含めた連絡会に発展させます。

2 人づくり・資質向上

今後も近隣の先進地視察研修を実施し、先駆的な活動を学び、当町のサロン活動に活かします。また、くらて健康隊養成講座を継続し、再度、サロンを応援する人材の養成に努めます。

3 場づくり

平成24年1月現在、新たに3箇所の地域からサロン実施に前向きな意見をいただいております、サロン実施に向けて引き続き協議を重ねて行きます。

4 活動の普及・推進・運営支援

新規立ち上げを希望している地域等への説明資料として、サロン立ち上げマニュアルを作成し、サロンの普及・推進に努めます。